

研究や活動成果報告



地域活性化などをテーマにした学習の成果を発表する生徒たち＝新温泉町芦屋の浜坂高

浜高ラボ 住民と質疑応答も

浜坂高（新温泉町芦屋）は、生徒の学習成果を発表する「浜高ラボ」を開いた。グローバルキャリア類型や総合的な探究の時間で学ぶ1、2年生の130人が、この1年間に取り組んだ研究や活動の結果を住民らに報告した。

生徒の活動内容を広く知ってもらおうと企画。校内で選ばれた9グループが地域活性化や校内での英語

学習、台湾での研修報告などをテーマに発表し、住民や学校評議員ら約30人が耳を傾けた。

グループの一つは、JR山陰線の活性化につなげようと昨年10月末、具補助金などを活用して浜坂駅で開いたイベントについて発表。ハタハタを使った炊き込みご飯を考案して販売したところ、予想以上に好評で、目標の50食を大きく上

回る242食を売り上げた飯を扱いたい」とメニュー化の提案を受けるなどし、生徒は手応えをつかんでいた。

「うちの店でも炊き込みご飯を扱いたい」とメニュー化の提案を受けるなどし、生徒は手応えをつかんでいた。（井上雅大）